

令和3年度一般財団法人新潟県建設技術センター研究助成事業

地域住民による「学びの里山」整備事業
活動事業報告書



令和4年3月

五日町森林公園管理組合

1. 概要

当五日町森林公園管理組は、南魚沼市内にある南魚沼森林公園に隣接する長期間開放されている里山（約 1.0ha）を、環境教育を意識した「学びの里山」として整備し、多くの人に利用してもらうことを目的とした事業である。具体的に、過去には炭焼きなどが行われていたにもかかわらず現在は、立ち入ることさえ容易には出来ない程、深い藪に覆われている里山を、まず間伐や下草刈りをして立ち入る事が可能な状態に復活し、散策が可能なように、歩道、階段、木道等を整備する。

2. 背景や必要性

南魚沼市は、八海山や魚野川など自然豊かな地域である。米作とともに地の利を生かしたスキー観光が産業の中心であるが、気候変動や新型コロナ等の影響をまともに受けて、先行きが不透明になってきている。持続可能なビジョンである社会ある社会を目指すために、例えば、冬期だけの観光から通年型の観光へ、気晴らしや娯楽型観光から、自己創造や学びに通じた体験型観光への移行などドラステックは変革が求められる。こうしたことから、現在放置されている里山を環境教育に資するよう地域住民の手で整備することが必要だと考えている。

3. 申請事業の内容とその特徴

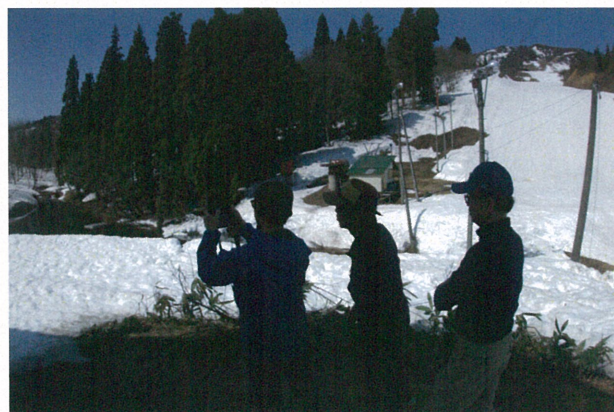
南魚沼市内にある南魚沼森林公園に隣接する里山（訳 1.0ha）を、地元の森林公園管理組合や環境・野外教育研究会のメンバーが協力して「学びの里山」として整備しようとする事業である。具体的には、現在は荒れ放題のブナやコナラ、ハウノキなどが自生する林を、散策できる程度に下刈りし、多様な自然観察プログラムが展開できるよう小径、階段、木橋等を整備する。行政指導ではなく、SDGsを意識しつつ住民を主体に地域活性化を継続的にめざす具体的なアクションであることが特徴である。

4. 整備活動

4月 ドローンと地図アプリを使い、全体を把握しながらルートを検討しました。
その後、候補ルートを歩き、目印のテープを木に付けました。



ルート開発中



ドローンにより全体確認



7月 4月に付けたテープを探しながらルートの再確認をし、新たにテープを付けた。



8月~10月 ルートの上の立木の伐採・整理しながら進んだ



チェーンソー及び草刈り機による立木伐採・整理状況」



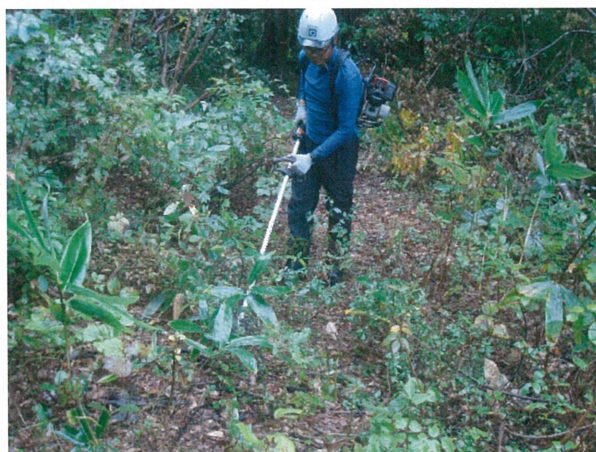
建設機械を使用しての伐根処理、整地作業状況



乗用草刈り機での下草刈り状況



枝打ち作業状況



下草刈り

5. 整備完了



6. まとめ

4月から初めて10月の間に本年度計画しました、五日町森林公園に隣接する里山の散策コースの整備（本年度分）が終了しました。

この結果、自然とのふれあいや環境教育の場が飛躍的に増大し次年度以降のキャンプや自然観察などの通年型グリーンプログラムの開催が可能になりました。「学びの里山」をフィールドとして多くの人々を対象に、多様な生涯学習活動を展開でき地域全体に環境保全や自然保護の意識の高揚が高まり、故郷への誇りや愛する心が醸成されることが期待されます。

令和 3 年度 実施計画図

青色・・・既設遊歩道
オレンジ・・・令和3年度実施遊歩道
ピンク・・・令和3年度実施広場
黄色・・・令和4年度計画遊歩道